

日経ビジネス2004年7月26日号に掲載されました「尊敬される会社—CSRランキングベスト100」特集における“CSR報告書の充実度ランキング”を新日本監査法人 新日本インテグリティアシュアランスにおいて担当いたしました。
評価内容について一部公開いたします。

1. 評価の対象について

評価の対象は、評価時点(2004年5月)においてCSR報告書、環境報告書、環境経営報告書、サステナビリティ報告書、RCレポート、事業報告書等を冊子として提供しており、かつ、以下の2要件のいずれかひとつでも該当する東証一部上場企業です(合計で172社)。

1. CSRの視点から銘柄を選別しているSRIインデックス(以下の4つ)のいずれかに登録されている日本企業。

(1)Dow Jones Sustainability Index(DJSI)

(2)Ethibel Sustainability Index Global

(3)FTSE4Good Global Index

(4)モーニングスター社会的責任投資株価指数(Morningstar Socially Responsible Investment Index)

2. GRIガイドラインに賛同している日本企業(GRIのホームページで確認可能な企業)

従って、東証1部に上場していない企業や上記2要件のいずれかに当てはまらない企業については、報告書を発行している場合でも評価の対象とはしておりません。

2. 評価方法について

評価方法としては、日経ビジネスに掲載しております「基本情報と信頼性」以下の5項目についてさらに詳細に基準を設けて、評価を実施しました。

評価にあたっては、できるだけ客観性を担保するため、同一社の報告書について複数の評価者で評価を実施し、意見が分かれた場合は評価者全員で検討し、最終的な評価を決定しています。参考までに5項目の評価の主な視点(これがすべての項目ではありませんが、主要な項目を掲示します。)を示すと、以下のとおりとなります。

1. 基本情報と信頼性

(1)組織の概要、対象範囲、対象期間、問い合わせ先が明記されている

(2)参考ガイドライン(GRI等)が明記されている

(3)第三者意見、意見に対する企業の方針と取り組みの記述がある 等

2. ビジョンと戦略の明示

(1)CSR活動全般、情報開示に関する企業姿勢が開示されている

(2)経済、環境、社会的課題についての認識が記載されている

(3)トップがコミットメントしている 等

3. ステークホルダーについての記述

(1)主要なステークホルダーが定義されている

(2)ステークホルダーへの基本姿勢が明示されている

(3)ステークホルダーコミュニケーション方法、実施結果

4. CSRマネジメントシステム

(1)コーポレートガバナンス体制が記載されている

(2)コンプライアンスへの取り組みが記載されている

(3)サプライヤーへのCSR方針が明示されている 等

5. 社会貢献のパフォーマンス

(1)トリプルボトムラインについてのパフォーマンス情報が記載されている

A) 経済

■ 主要ステークホルダーへの金銭的インパクトや間接的影響

■ 財務パフォーマンス指標 等

B) 環境

■ 電力、ガス、水の使用量、温室効果ガスの排出量

■ リサイクル 等

C) 社会

■ フェアな職場、安全衛生

■ 地域社会

■ 製品責任 等

(2)今年度の当初の目標、実績、自己評価が記載されている

(3)来年度以降の目標が明記されている 等

3. ランキングの詳細や貴社報告書の評価を希望される場合の連絡先について
日経ビジネスに掲載されている貴社点数の内訳などの詳細をお知りになりたい場合
や、172社に該当しない企業の方で貴社の報告書を今回のランキングと同一の基準で
評価をご希望される場合は、下記までご連絡ください

<お問い合わせ先>
新日本監査法人 新日本インテグリティアシュアランス株式会社
マネージャー 右田将徳(みぎた)・ 頼永泰弘(よりなが)

電話:03-3503-1116 FAX:03-3503-1151

E-mail: 右田<migita-msnr@shinnihon.or.jp>
頼永<yorinaga-yshr@shinnihon.or.jp>